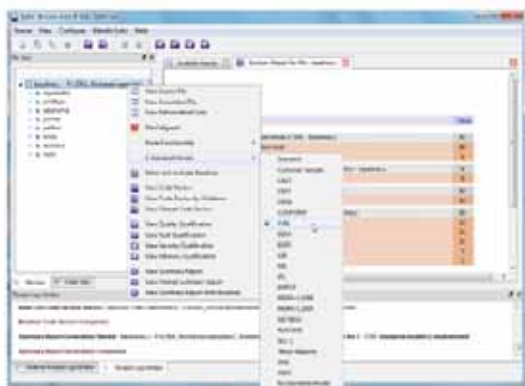
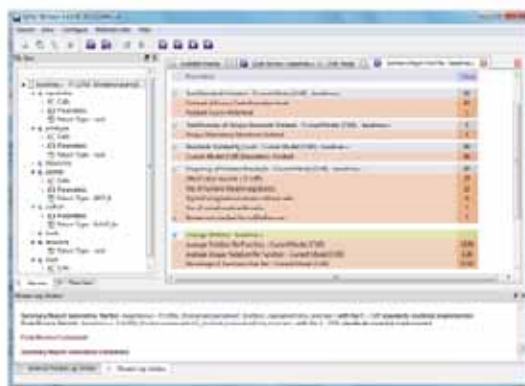


LDRA アメリカ合衆国国土安全保障省の セキュアプログラミングガイドラインに対応

2011/6/14 : LDRA 社プログラミングスタンダードチェック機能は 共通脆弱性タイプ一覧 CWE (Common Weakness Enumeration) に対応。アメリカ合衆国国土安全保障省の戦略的取組みとして制定された CWE のサポートにより、ソフトウェアの脆弱性に共通したプログラミングエラーを検出することができる。



Screenshot 1: Selection of the CWE standard from within TBvision



Screenshot 2: TBvision CWE Compliance Summary Report

CWE はソフトウェアの共通脆弱性タイプ一覧。このプロジェクトは、アメリカ合衆国国土安全保障省 “ the National Cyber Security Division ” の戦略的な取組みであり、ソフトウェアにおけるセキュリティ上の弱点（脆弱性）の種類を識別するための共通の基準を目指している。

NIST (the National Institute of Security Technology) の調査によるとソフトウェアの脆弱性の 6.4% は、プログラミングエラーに起因している。このようなソフトウェアの脆弱性に関する根本原因を検出するために、米国政府の支援を受けた非営利団体の MITRE Corporation により CWE のリストが制定された。このMITREは、連邦政府資金による研究・開発センターを運営。そのひとつが、国土安全保障省のCWEプロジェクト。

CWE をサポートする LDRAの静的解析と動的解析ツールである Testbed や TBvision は、コード内の安全性に対する欠陥や脆弱性を検出し、安全なソフトウェアアプリケーションの開発を支援できる。LDRAツールスイートはCWEのコーディングルール集に正確にマップされ、コード内の脆弱性を検出・参照・レポート化できる。

“ 今日、あらゆる生活基盤はインターネットに接続されるソフトウェアに依存しています。通信、電力供給網、医療情報・サービス、交通管理システム、航空管制システム、金融システムなどのインフラが攻撃に対して安全であることは重要です。LDRAツールスイートによって、外部からの攻撃や搾取の恐れがあるソフトウェアアプリケーションの脆弱性に関わるプログラミングエラーを検出できるようになります。 ” - Ian Hennell, LDRA社 Operations Director

CWE では、多種多様にわたるソフトウェアの脆弱性を識別するための、脆弱性タイプの一覧を体系化して提供。加えて、ソフトウェアのセキュリティを向上させるための LDRA などの脆弱性検査ツールも案内されている。また、ソフトウェアのアーキテクチャ、デザイン、コードに内在する脆弱性に関して、共通の言葉で議論できるようになる。

LDRA 社について

LDRA は30年以上に及び、高い安全性・信頼性・セキュリティを求められる製品のソフトウェアテストとコード解析の自動化支援ツールを開発し、提供している。早期エラーの検出を実現することや、業界標準への完全準拠を求められる顧客に対し、あらゆるハードウェアやソフトウェアプラットフォームで、要件から静的解析・動的解析・単体テストのトレーサビリティを支援する。そして英国本社を筆頭に、米国などの子会社、代理店のネットワークによって、ワールドワイドに、そのサポート体制を誇っている。更に詳しい情報は、www.ldra.com まで。

お問合せ先：

Mark James

Email: mark.james@ldra.com

国内代理店：

富士設備工業株式会社電子機器事業部 <http://www.fuji-setsu.co.jp/>

〒591-8025 大阪府堺市北区長曾根町1928-1

Email: info@fuji-setsu.co.jp

富士設備工業(株)電子機器事業部は、日本国内の組込みシステム市場に、海外の最高峰のハードウェア、ソフトウェア開発支援システムを提供しています。大阪府堺市を拠点に、Ashling Microsystems、Lauterbach、LRDA Software Technology、MetaCase、pure::variants、T-VEC、XJTAG 社のツールを国内市場に提供し、製品サポートを通じて顧客の開発を支援しています。

